

活動タイトル	外国にルーツを持つ子どもたちの進路支援事業		団体名	こおりやま日本語教室		
1年間の活動 (アウトプット)の 目標 (事業全体)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校進学ガイドブックの一部改訂 来年度大きな変更があるようなので、今年度は一部改訂にとどめ、Webでのみ公開し、印刷はしない。県内の教育委員会を訪問し、改訂情報を報告すると共に現場での問題点を聞く機会とする。 ・高校進学ガイダンスの開催 昨年作成したガイドブックを使用して、高校入試の仕組みを説明する。通訳を配置し、参加者の疑問や質問に答えられるようにする。外国出身高校生に体験談を話してもらい、ロールモデルを提示する。 ・体験型学習を企画運営し、社会参加の機会を提供する。 地域の団体に協力を要請し、体験活動を実施する。 (案) 日本の文化体験 農業体験 専門学校見学 			<p style="text-align: center;">■ 活動風景</p>		
	<p style="text-align: center;">■ 活動報告</p>		<p style="text-align: center;">■ 1年間の目標に対する達成状況</p>			
<p>○高校進学ガイドブックの一部改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県教育委員会のHPに掲載された新しい入試制度の概要をもとに、新しい高校入試制度について原稿を改訂するとともに、5か国語に翻訳し、HPを更新した。 ・新しい入試制度について書かれたガイドブックを活用してもらえるように、三つ折りパンフレットを作成し、QRコードを使って簡単にHPにたどり着けるようにした。 ・ある高校で作成した健康診断書書の活用許諾をいただき、ガイドブックに加えることができた。海外の中学校を卒業して来日した既卒の生徒は健康診断書を提出しなければならず、今までその診断書の書式がないために苦労してきた。書式を提示することによって、不安材料を取り除くことができた。 <p>○高校進学ガイダンスの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年作成したガイドブックを使用して高校入試の仕組みを説明した。 ・お子さんが高校受験の経験を持つ方を通訳に依頼し、体験をもとに参加者の疑問や質問に答えることができた。 <p>○体験型学習を企画運営し、社会参加の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験や日本の行事（花見や七夕など）体験、さらに専門学校訪問などを企画し、教室での教科学習だけでなく、社会体験を積むための工夫を行うことにより、専門学校では将来の職業について考える機会を持つことができ、高校進学がゴールではなく、将来のライフコースも考えられるように工夫した。 ・ボランティアのスキルアップ研修会を開催 	<p>○高校進学ガイドブックの改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定を繰り上げ、新しい入試制度についてまでガイドブックを改訂することができた。5か国語に翻訳し、誰もがHPからダウンロードできるようにHPを更新した。 ・ガイドブックの活用を図るために、HPにアクセスしやすいQRコードが添付されている三つ折りパンフレットを作成することができた。これから3者面談の時期に活用してもらえよう教育委員会を通して配布予定。 <p>○高校進学ガイダンスの開催</p> <p>高校3年生の体験談を聞くことによって、高校入試の情報だけでなく、高校進学後の学校生活の過ごし方や大学進学についての情報も聴くことができた。</p> <p>○体験型学習</p> <p>週末にしか見学に行けない児童生徒の都合と、専門学校の受け入れ日程の調整に苦労したが、週末開催の学園祭の日に学校見学のプログラムを特別に組んでいただくことができた。</p> <p>○当初予定になかったボランティアスキルアップ研修会を開催することができた。</p> <p>宮城県で長年外国人児童の進学指導をしている講師を招き、ライフコースを視野に入れた指導について学ぶことができた。</p>			<p>高校進学 ガイダンス 通訳付き</p>		
<p style="text-align: center;">■ 1年間の活動のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の計画よりさらに進めて、新しい入試制度について高校進学ガイドブックを改訂することができた。5か国語に翻訳し、HPに掲載して誰もがダウンロードできるようにした。 ・3か国語の通訳付き高校進学ガイダンスを計画したが、参加者が皆中国出身者であったため、当初予算より少額で実施することができた。 ・計画を追加して、日本語ボランティア研修会を開催し、ボランティアのスキルアップにつなげることができた。 ・体験型学習も予定通り、農業体験と専門学校見学を実施することができた。さらにボランティアの協力により、日本語教室の時間内にお花見や七夕、水習字など日本文化を体験することができた。 	<p style="text-align: center;">■ 事業を通じて得られたノウハウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校進学ガイドブックを多言語で作成するにあたり、地域の母語話者との連携による翻訳体制とチェック体制を築くことができた。さらに高校進学ガイダンスの時には通訳として関わっていただける体制作りができた。 ・この事業を通して、教育委員会との協力関係を深めることができた。お互いの情報を持ち寄り、子どもの支援体制を相談できるようになってきた。さらに児童生徒の在籍学校との連携が取れる関係作りができるようになった。 ・高校進学ガイダンス主催者交流会メンバーとの情報交換ができるようになった。福島県の入試調査に協力することになり、県教育委員会にアンケートを依頼し特別枠入試情報について報告した。全国の入試調査に貢献することができた。 ・専門学校との連携によるキャリア支援講座を実施することにより、将来の仕事の視野に入れて進路を考えるきっかけ作りができた。 		<p style="text-align: center;">■ 実施した人材育成策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア対象に研修会を開催し、ライフコースを視点に入れた指導について学ぶことができた。 ・外国にルーツを持つ子どもたちへの協力要請。高校入試ガイダンスで先輩の体験談を聞く機会を持た。自分の入試体験を記録することによって、後輩の役に立てるということを事前に説明しておいたことにより、問題意識化され、高校入試の報告書を丁寧に記録してくれた。 	<p style="text-align: center;">■ 活動成果のアピールポイント (自由記入)</p> <p>この1年間の活動を通じて</p>	<p style="text-align: center;">受益者が後輩の支援に回れるほどの成長</p>	<p style="text-align: center;">を達成しました。</p>
			<p style="text-align: center;">■ 受益者の変化 (効果測定結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来日間もなく、日本語ができなかった中学生は、高校入試特別枠制度について多言語ガイドブックや通訳付きの高校入試ガイダンスに参加することによって、福島県の入試制度について詳しく知り、先輩の体験談を聞くことによって、受験に向けて頑張る気持ちを持つことができた。 ・日本語による面接の練習や作文の練習を繰り返し、無事合格することができた。 ・入試の体験を記録として残し、後輩のために協力する気持ちも芽生えた。高校入試ガイダンスに先輩として体験談を発表する立場に成長することができた。 			